## En に対する dans の勢力拡大はなぜ 18 世紀に終息したのか

## 本間 幸代 (慶應義塾大学非常勤)

Fagard, B. & L. Sarda (2009: 228)および Robert dictionnaire historique de la langue française(1995: 992)によると、前置詞 dans の使用が確認できる最初の文献は 12 世紀に遡る。しかし、A. Darmesteter (1885: 9-13), F. Brunot (1927: 382), G. Gougenheim (1974:183)をはじめとする研究者が明らかにしているとおり、前置詞 dans の使用頻度が急速に高まるのは 16 世紀半ば以降であり、それまでの頻度は非常に限定的であった。 Dans は en に対する勢力を拡大しながら発展を遂げ、その過程において以下のような傾向が伴ったことが A. Darmesteter (Ibid.: 19), Fagard, B. & L. Sarda (Ibid.), Fagard B.& Combettes B. (2013) や D. Vigier (2017b) らの研究によって明らかにされている。

- 1) Dans による en の空間的用法の侵食
- 2) 補語に限定辞が含まれる場合における dans による en の使用範囲の浸食
- 3) Dans の使用領域の拡大:空間的用法から時間的用法および抽象的用法へ

しかし、これらの傾向に関してはいずれも疑問点が残る。まず 1) -2) については、habiter en (France/Dordogne)などの en の空間的用法や en l'honneur de~, en sa présence など en の補語に限定辞が含まれる用例は dans に侵食されずに多数残っている。そして 3) についても、dans が時間的用法や抽象的用法へと使用領域を拡大していく中で dans による侵食を免れた en の用法は数多く見られる。例えば finir son travail en trois heures のような en の時間的用法は、dans に置き替えた場合とは全く異なる意味を持つものとして確固たる地位を保っており、抽象的用法についても en paix, en joie など多数残存している。このように、1) -3) の傾向によって淘汰されるはずだったと思われる en の用法が多数残されているのであるが、Fagard B.&Combettes B. (Ibid. :96) や D. Vigier(2017a: 117)が行ったコーパス分析の結果によると、なぜか dans の en に対する勢力拡大は 18世紀半ば頃でほぼ終息しているのである。これはどのような理由によるものだろうか。

本発表では、まず今日の en と dans の複数の用法を分析し、両前置詞の決定的な違いは他者性を想起させる機能の有無であることを明らかにする。次に、en の用法のうち他者性が想起されるものを担うべく dans が 16世紀半ばごろに勢力を拡大し始め、en との棲み分けが 18世紀半ばにほぼ完了したのをもって dans の en に対する勢力拡大が終息したのではないかと論ずる。

## 参考文献:

**BRUNOT F.** (1927) *Histoire de la langue française des origines à 1900*, Tome II, Le seizième siècle (2e édition revue et corrigée), Paris, Armand Colin.

**DARMESTETER A.** (1885) Note sur l'histoire des prépositions françaises 'en', 'enz', 'dedans', 'dans', Paris, L. Cerf.

**FAGARD B. & L. SARDA** (2009) « Etude diachronique de la préposition *dans* » in *Autour de la préposition*. Caen : Presses Universitaires de Caen, 225-236.

**FAGARD B. & B. COMBETTES** (2013) « De *en* à *dans*, un simple remplacement ? Une étude diachronique » in *Langue française* 178, 93-115.

GOUGENHEIM G. (1974) Grammaire de la langue française du seizième siècle, Paris, Picard.

**VIGIER D.** (2017a) « La préposition dans au XVIe siècle. Apports d'une linguistique instrumentée » in *Langages* 206, 105-122.

**VIGIER D.** (2017b) « L'évolution des usages des prépositions *en, dans, dedans* entre le XVIe et le XXe siècle : approche distributionnelle sur corpus outillé », in *Discours* [En ligne], 21 | 2017, mis en ligne le 22 décembre 2017, URL : http://journals.openedition.org/discours/9373; DOI : 10.4000/discours.9373.

ROBERT DICTIONNAIRE HISTORIQUE DE LA LANGUE FRANÇAISE (1995) (nouvelle édition), Paris.

他